

# おせっかいマインドでいこう!

## 変動する社会におけるコミュニティづくり

2023年1月22日(日)

2012年のスタートから11年、とびらプロジェクトでは、美術館を拠点に、多様な人々が作品や文化財を介して関わり合う活動を育んできました。2022年4月には11期とびラーを迎え、今年度も新たな対話の場づくりに取り組んでいます。

この間、社会の情勢に応じて、人々の生活やコミュニティの在り方は多様に変化し続けています。

コミュニティを育む実践を重ねていく中で、私たちは今改めて、「おせっかい」と表される気持ちや行動の在り方、かかわり方に注目しています。人と人とのつながり方が見直されるコロナ禍においては、他者に関心を寄せ、自ら半歩踏み出して関ろうとする意識がコミュニティを豊かに育むエネルギーの源となるのではないのでしょうか。今回のフォーラムでは、こうした他者への想像から始まる主体的な関係づくりに目を向け、健やかなコミュニティの育み方を議論していきます。任期満了したアート・コミュニケータやとびラーをゲストに迎え、これまでの実践を振り返りながら、「おせっかい」と呼ばれるかかわり方を解きほぐすことで、変動する社会におけるコミュニティに必要なマインドや、アクションについて考えていきます。

キーワードは、#かかわりしろ #ミュージアム #アート #コミュニティ #他者への想像 #パーソン・センタード みなさまのご参加をお待ちしています。

### 参加申込方法

参加費無料、事前申込制(先着順)

「とびらプロジェクト」ウェブサイト内の申込フォームからお申し込みください。



<https://tobira-project.info>

とびらプロジェクト 検索

お問い合わせ 東京都美術館 アート・コミュニケーション係  
〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36 メール:q-tobira@tobira-project.info Tel:03-3823-6921(東京都美術館代表)

主催/公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、東京藝術大学  
企画・運営/東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」  
2022 © Tokyo Metropolitan Art Museum

**第一部** **事前申込制**  
13:00~15:30 [開場 12:30]  
会場:東京都美術館 講堂  
定員:会場参加 220名  
※手話通訳、文字通訳あり ※後日、記録映像の公開あり

### とびらプロジェクトとは?

小牟田悠介 東京藝術大学 美術学部 特任助教/とびらプロジェクトマネジャー

### トークセッション

11年間の挑戦! /  
変動する社会におけるコミュニティづくり  
アート・コミュニケータ / 西村佳哲 / 熊谷香寿美 / 小牟田悠介

### ディスカッション

### おせっかいマインドでいこう!

西村佳哲  
プランニング・ディレクター/リビングワールド代表

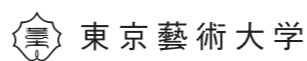
熊谷香寿美  
東京都美術館 学芸員 アート・コミュニケーション係長/  
とびらプロジェクトマネジャー

小牟田悠介  
東京藝術大学 美術学部 特任助教/とびらプロジェクトマネジャー

**第二部** **事前申込制**  
15:45~17:00  
会場:東京都美術館 講堂、  
アートスタディールーム、スタジオ

### とびラボ オープンセッション

とびらプロジェクトの活動拠点を公開し、とびラボなどのとびラーの普段の活動についてご紹介します。とびラーがみなさまからのご質問にもお答えします。時間内はご自由に入退室いただけます。



東京都美術館  
×  
東京藝術大学

# とびラー 募集!

定員  
**40名**

「アート・コミュニケータ」と  
とびラーとよびます。



締切

2023.1.31

火

消印有効



東京都美術館 × 東京藝術大学  
とびらプロジェクト

「とびらプロジェクト」とは、東京都美術館  
と東京藝術大学が連携して行っている  
ソーシャルデザイン・プロジェクトです。



## とびらプロジェクトとは？

東京都美術館と東京藝術大学と市民が連携し、アートを通してコミュニティを育むソーシャルデザインプロジェクトです。美術館を拠点に、そこにある文化資源を活かしながら、人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、そこから生まれる新しい価値を、実践を通して社会に届けています。

今年も活動の主体となるアート・コミュニケーター(とびラー)を40名募集します。東京都美術館と東京藝術大学と共に、あなたもアート・コミュニケーター(とびラー)として活動に参加してみませんか。「とびラー」の活動は、学芸員や大学の教員、そして第一線で活躍中の専門家を中心としたプロジェクトチームがしっかりとサポートしていきます。

### 例えばこんな活動

人々のつながりを大切にしたい新しい対話の場(コミュニティ)づくり

本物の作品を通してコミュニケーションを育む鑑賞プログラム

障害のある方など美術館に来館しづらい方々を対象とした特別鑑賞会の開催

建築家・前川國男が設計した東京都美術館の建築を活用したプログラム

美術館を活用して、自ら学び考えることを育む鑑賞授業の実施(学校との連携)

上野公園に広がる9つの文化施設をつなぐ活動の推進(「Museum Start あいうえの」との連動)

とびらプロジェクトは  
アートを介して人々の中に  
新しい価値を育む活動を行っています。

### 応募条件

- 18歳以上の方(2023年4月1日現在、高校生を除く)で、日本語で日常会話ができる方
- 美術または美術館に関心があり、積極的に学び、活動意欲のある方
- 東京都美術館のミッション(使命)と東京藝術大学からのメッセージを理解し、共感して活動できる方
- 2023年4月～6月の基礎講座全6回に原則として全て参加可能な方
- 2023年7月以降、月2回以上の活動に参加可能な方
- パソコンなどでのEメール送受信が可能な方

### 活動条件

- アート・コミュニケーターの活動は無償です。交通費、謝礼等の支給はありません。ただし、ワークショップや講座等学びのコミュニティに無料で参加できます。
- アート・コミュニケーターの登録期間は1年間とします。次年度以降は本人ととびらプロジェクト双方の合意のうえ、登録更新し、最長3年間とします。
- とびらプロジェクトのウェブサイト等を読んだり、Eメールでの連絡ができること。

### 活動場所

東京都美術館、東京藝術大学など。

### 応募方法

- 以下の書類を郵送してください。
- ☑ 応募用紙：<アート・コミュニケーター応募用紙>に必要事項を記入してください。  
※「とびらプロジェクト」ウェブサイトよりダウンロードしてください。 <https://tobira-project.info>
- ☑ 課題：A4用紙1枚(記載様式自由)
- ☑ 返信用封筒1通：定形封筒(長形3号)に84円切手を貼付の上、宛先欄に応募者の郵便番号、住所、氏名を明記してください。
- ☑ 郵送の際には、封筒の表面に「アート・コミュニケーター応募書類在中」と朱記してください。
- 応募受付期間：2023年1月4日(水)～1月31日(火) 消印有効

### 東京都美術館のミッション

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる、すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

### 東京藝術大学からのメッセージ

アートを介したコミュニティづくりは、作品を創造する人、そしてそれを享受する人を含め、人びとのクリエイティブな力が活きる社会をつくることにつながります。東京藝術大学は、芸術の基本である「もの」としての作品に加えて、「こと」としての芸術に取組み、市民が芸術に親しむ機会の創出に努め、芸術をもって社会に貢献します。



募集人数 **40**名

応募受付期間

2023年  
1月4日(水)～1月31日(火)  
消印有効

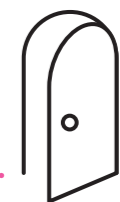
1次選考



書類審査

選考結果は2023年2月20日(月) 発送で応募者全員にお知らせします。

2次選考



面接審査

2023年  
3月3日(金)～5日(日)のいずれか1日

選考結果は2023年3月15日(水) 発送で2次選考対象者全員にお知らせします。  
※ 面接は東京都美術館にて対面で行います。

### 1次選考

アート・コミュニケーターに応募する動機と、その背景になっているあなたにとって重要な体験について述べてください。美術館の体験でも、美術館の体験でなくてもかまいません。

(A4用紙1枚にまとめ、必ず氏名を記入してください。記載様式は自由ですがA4規格外の用紙使用や裏面への記載は選考対象となりませんのでご注意ください。)

\*2次選考の面接はアート・コミュニケーターの活動をウェブサイトや参考図書等でご覧いただいていることを前提に行います。

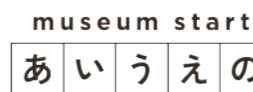
### 参考図書

「美術館と大学と市民がつくる  
ソーシャルデザインプロジェクト」  
とびらプロジェクト編  
青幻舎 1,600円+税

全国の書店やインターネット書店で発売中



### アート・コミュニケーターの活動については各ウェブサイトをご確認ください



### 書類郵送先

東京都美術館 アート・コミュニケーター募集担当宛 〒110-0007 東京都台東区上野公園 8-36

※一度提出していただいた応募用紙等の書類は返却いたしません。 ※応募者の個人情報、アート・コミュニケーターの選考に関する以外には一切使用しません。

### 講座内容

#### 基礎講座

日程：2023年4月15日、29日、5月13日、27日、6月10日、24日  
(すべて土曜日、午前10時～午後3時予定)

場所：東京都美術館、東京藝術大学

内容：美術館での活動についてや対話の場づくり、作品を通じたコミュニケーションとはどのようなものかを学びます。新しいコミュニティづくりにつながる基礎的な物事の考え方をディスカッションやワークショップなどの参加形式で深めていきます。

#### 実践講座

2023年7月から実践講座が始まります。



鑑賞実践講座の様子



「伊庭靖子展 まなざしのあらい」東京都美術館 ©Yusuke Nakajima